



たてべだより



編集：発行：建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター

Tel・FAX：22-0303 IP：5801-0303

Mail：tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

第11号

令和4年2月号



例年にない大雪も、コロナウイルスと共に押し寄せて来ました。

コミセンの駐車場はゲレンデの様に真っ白になり、利用者さんを足止めしました。

今年度は、コロナウイルスの対策により事業や各講座が中止となり、地域住民の皆さんの交流の場所が閉ざされ大変ご不便をおかけいたしました。

一日も早くコロナウイルスが終息し、活気あるまちづくりに目を向け、次年度は、事業の内容を検討してまいります。引き続き地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年度から新しくコミセンクラブが誕生します

「コミセンクラブ」のご案内



今年度から、コミセン講座の一部を変更して、コミセンクラブを立ち上げます。
コロナ禍の中、講座やサークルの中の集まりも少なくなり、いつまでも元気に生活するために、趣味や特技を生かしての仲間づくりを目的とします。

【対象者】 建部地区在住者に限ります。

【内 容】 スポーツクラブ・文化クラブ（詳細については3月号別紙記入）

【受講料】 一クラブ500円・・・（両方のクラブの申し込み可その場合は1000円）

【日 程】 年間18回（予定）（詳細については3月号にて掲載）

【場 所】 建部コミュニティセンター内

【定 員】 各クラブ15名程度

【材料費】 材料費が発生するクラブについては、その都度徴収します。

【その他】 クラブの在籍は一年間とします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により変更になる場合がありますのでご了承下さい。

コミセン主催の「寄来処」（よっこらしょ）旧学びのつどいは単発の講座や講演に切り替えて建部だよりにて随時募集（案内）します。

★スポーツクラブの一例

- ・ヨガ
- ・スクエアステップ
- ・スマイルボーリング
- ・ディスコン
- ・リズム体操
- ・ウォーキング

など



★文化クラブの一例

- ・音楽鑑賞
- ・陶芸
- ・料理
- ・手芸

など

※上記クラブの内容は参加者の中で検討して頂いて1年間の計画を立て、クラブ運営をして行きたいと考えています。



獅子舞を見ました！

1月27日幼稚園に獅子舞がやって来ました。華麗な獅子の舞を見せていただきました。そんな舞をただ黙って見つめる子どもたち。園で獅子舞を間近に見るといふ貴重な経験ができてよかったです。新型コロナウイルス感染症予防のため、頭をガブリ！とはしてもらえませんでした。今年もみんなが元気に過ごせそうです。

令和4年度幼稚園の入園申し込みを行っています！

5歳児、4歳児、3歳児、いつでも入園申し込み可能です。園見学もしていただけます。ご来園ください。

「預かり保育」を実施しています。

平日 保育終了後～16時30分

長期休業中(春・夏・冬休み期間)8時30分から16時30分



問い合わせ
建部幼稚園

0748-22-0944

050-5801-0944

— 孫にきかせる — 建部のむかし話

日本各地には地域で語り継がれているむかし話があります。今月から建部に残るむかし話をシリーズで紹介してまいります。是非、お子様やお孫様にきかせてあげてください。

「弁慶の背比べ石」

瓦屋禅寺参道の石段を登って行きますと、700mの辺りに南に向かって旧山道があります。これを20mほど入った所に8尺ほどの背の高い石が立っており、昔からこれを「弁慶の背比べ石」と呼んでいます。

これは源義経が家来を連れて太郎坊宮に参拝し、その足で由緒ある瓦屋寺に参詣した際、弁慶の大男振りを見て驚いた寺のお坊さんたちが「この石と背比べしないか」と持ち掛けました。

弁慶はこれを聞き「わしに勝つものはない」とばかりに石と背比べをした所、石の方が高かったため弁慶はぷりぷり怒ってその石を蹴飛ばしました。

そうすると石の先端が割れて飛んで行き日吉町の田んぼの中に落ちました。

それ以後、その地を「田中」と呼ぶことになりました。



かいとびより

夙日和地域交流会の開催

—新しい年を地域の皆さんと一緒に—

令和4年1月14日（金）、地域の方々との交流を目的に、そして夙日和の事業活動を知っていただけるようにと、東近江市社会福祉協議会の歳末助け合い地域活動支援事業の一環として、地域交流会が開催されました。

当日は朝から大雪でしたが、地元の方々が足を運ばれ、昨春に新築された施設で交流を図る貴重な機会となりました。

ヨガ教室や陶芸体験、心の健康相談、施設自慢の“café まめいる”の珈琲を楽しむ場を設け、一緒に和やかなひとときを過ごすことができました。

参加された方々からは、「交流会があることでお知り合いになれた」「とてもリフレッシュできる場所です」「明るく解放的な所が良いと思います」「コーヒー美味しかったのでまた来ます」「地域との関わりを色々な形で持って欲しい」など多くの声をいただきました。

管理者の稲岡昌美さんは「多くのご支援をいただき、この事業の大きな成果を感じています。今後とも、どうぞよろしくお願いいいたします」とお礼を述べられました。



滋賀学園美術部「大きな虎」を描く

滋賀学園中学・高等学校美術部のみなさんが、虎の絵を描き2月8日に県道彦根八日市甲西線と外環状線の交差点近くに掲示しました。

縦1.2m横3.6mの大きな絵で、虎の縞模様には部員それぞれの思いが油性マジックでびっしり描かれており、そこに金色のスプレーが吹き付けられています。

また虎の後ろにはコロナウイルスが世の中から早くなるように、再生のイメージで植物の絵が描かれています。

顧問の磯部実樹先生は、「コロナ禍で社会が困窮する中、地域に元気を届けようと9名の部員が寅年にちなみ心を込めて描きました」とお話されました。

